

金澤醫科大學法醫學教室

(主任 古畑教授)

金澤市某高等女學校生徒ニ就イテ行ヘル血液型並ニ氣質ト血液型トノ關係調査成績

講師 醫學士 正 木 信 夫

助手 醫學士 越 後 一 雄

(昭和8年12月23日受附)

目 次

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 一 緒 言 | (二) 古川氏ノ $\frac{A}{P}$ ニ就テ |
| 二 血液型調査成績 | (三) 氣質型ト血液型トノ關係 |
| 三 氣質ト血液型トノ關係 | 四 結 論 |
| (一) 積極的, 消極的氣質ト血液型トノ關係 | |

一 緒 言

余等ハ曩ニ石川縣河北郡ニ於ケル六小學校及ビ金澤市ノ一小學校兒童ニ就イテ, 其ノ血液型ト古川氏ノ氣質型トノ間ニ關係ガアルカ否カラ調査シ, 兩者ノ間ニ關係ガアルコトヲ證明スルコトガ出來ナカッタ.

之等ノ調査ニ於テ, 氣質ノ判定ニ心理的ノ影響ガ甚シク加ハルコトヲ觀察シ, 科學的見地ニ立チ, 先入感ニ支配セラレルコトヲ極力避ケナケレバ「心理的錯覺」ニ陥ル危險ガアルコトヲ叙ベテオイタガ, 今回ハ金澤市ノ某高等女學校生徒ニ就イテ同様な調査ヲ試ミ其ノ結果ヲコ、ニ報告スル次第デアル.

二 血液型調査成績

調査方法ハ従前ノ報告ニ記載シタ通りデアル.

其ノ成績ハ第1表ニ示シタ如ク, 總検査人員406名中O型ガ113名(27.83%), A型160名(39.41%), B型97名(23.89%), AB型36名(8.87%)デアル.

之ヲ新豎町小學校ニ於ケル成績及ビ石川縣人, 北陸地方人ノ血液型ノ分布ニ比較スルトO型, AB型ガヤ、少ナク, A型, B型ガ比較的多イ. 殊ニO型ガ比較の少ナク, A型ガ多イコトガ目ニ立ツ. 人種係數ハ1.47デアツテ, 石川縣及ビ北陸地方人平均ノ人種係數ニ略々一致シテキル.

此ノ他ニ教師15人ノ血液型ハO型5人(33.32%), A型6人(40.00%), B型3人(20.00%), AB型1人(6.67%)デアツタ.

第 1 表

年 級	O	A	B	AB	計	人 系 種 數
一 年	13	24	14	6	57	
二 年	24	25	25	9	83	
三 年	21	33	18	6	78	
四 年	22	31	18	7	78	
五 年	33	47	22	8	110	
計	113 27.83	160 39.41	97 23.89	36 8.87	406 100.00	1.47
新 堅 町 小 學 校	32.56	38.45	20.03	8.96	1563	1.63
石 川 縣	31.48	35.96	22.87	9.69	17614	1.40
北 陸 地 方	31.55	36.44	22.53	9.48	32300	1.43

次ニ406名ノ血液型ノ頻度ヨリウェリツシュノ算式ニヨツテ p, q, rヲ計算シテ見ルト,

$$p = \frac{1}{2}(10 - \sqrt{O+B} + \sqrt{O+A} - r) = 2.867$$

$$q = \frac{1}{2}(10 - \sqrt{O+A} + \sqrt{O+B} - r) = 1.858$$

$$r = \sqrt{\frac{O}{10.000}} = 5.275$$

p=2.867, q=1.858, r=5.275

第 2 表

デアツテ、石川縣及ビ北陸地方平均ノ値ニ比較シテ、p ガヤ、大キク、r ハ比較的小デアル。

此ノ p, q, r ノ値カラ三遺傳單位說ニヨツテ、血液型各型ノ頻度ヲ計算シテ見ルト第2表ニ示シタ如ク、理論數ト觀察數トハヨク一致スル。即チ三遺傳單位說ハ實際ニヨク適合スルコトヲ知ル。

血 液 型	O 型	A 型	B 型	AB 型
	r ²	p ² +2pr	q ² +2qr	2pq
理 論 數 (F ₁)	27.83	38.47	23.05	10.65
平 均 誤 差 (m ₁)	± 2.22	± 2.41	± 2.09	± 1.53
觀 察 數 (F ₂)	27.83	39.41	23.89	8.87
平 均 誤 差 (m ₂)	± 2.22	± 2.42	± 2.11	± 1.41
F ₁ ~ F ₂	0	0.94	0.84	1.78
M = ±√(m ₁ ² + m ₂ ²)	± 3.14	± 3.42	± 2.97	± 2.08

三 氣質ト血液型トノ關係

(1) 積極的、消極的の氣質ト血液型

余等ハ先ニ小學校兒童ニ就イテ氣質ト血液型トノ關係ヲ調査シ、O型、B型ハ積極的デアリ、A型、AB型ハ消極的デアルト言フ古川氏ノ說ヲ確然ト證明スルコトガ出來ナカツタ。又 $\frac{A}{P}$ ヲ以テ團體ノ氣質ヲ推論スルコトハ當ヲ得タコトデナク、時ニ思ハヌ誤斷ニ陥ルコトアルコ

トヲ知り、團體性指數又ハ民族性指數ノ意義ニ對シテ少ナカラズ疑義ヲ有スルモノデアルコ

第 3 表

血液型	O		A		B		AB		計	
	積極	消極	積極	消極	積極	消極	積極	消極	積極	消極
一年	5	8	8	16	4	9	1	5	18	38
二年	9	17	4	20	7	18	1	7	21	62
三年	11	10	8	23	9	9	1	4	29	46
四年	6	15	5	26	7	11	2	5	20	57
五年	10	22	11	36	10	12	1	7	32	77
計	41	72	36	121	37	59	6	28	120	280
	36.28	63.72	22.93	77.07	38.54	61.46	17.65	82.35	30.00	70.00

トヲ報告シタノデアルガ、今回高等女學校生徒ニ就イテ調査シタ結果モ前回ト同様ノ結論ニ到着シタ。

先ヅ生徒 400 人ニ各自ノ内省ニヨツテ積極的ナルカ、消極的ナルカノ判定ヲ記入セシメ、然ル後血液型トノ關係ヲ調査シ、各型毎ニ積極的ノモノガ多イカ、消極的ノモノガ多イカナ見ルト、(第3表)各型共ニ積極的ダト答ヘタモノヨリモ消極的ダト答ヘタモノガ多數ヲ占メ、就中 AB 型、A 型ハ消極的ダト答ヘタモノ、割合ガ多カツタ。

次ニ第4表ニ於テ積極的ノモノヲ各血液型ニ分ケ之ヲ北陸地方人ノ血液型ノ頻度ニ比較シテ見ルト O 型ニ於テ 2.62%、B 型ニ於テ 8.30% 多ク、A 型ニ於テ 6.44%、AB 型ニ於テハ 4.48% 少ナイ。一見 O 型、B 型ニハ積極的ノモノガ多ク、A 型、AB 型

第 4 表 積極氣質者ノ血液型

	O	A	B	AB	計
% (F ₁)	41	36	37	6	120
平均誤差 (m ₁)	± 4.33	± 4.18	± 4.21	± 1.99	
北陸地方ノ血液型頻度	10109	11771	7277	3062	400
% (F ₂)	31.55	36.44	22.53	9.48	100.00
平均誤差 (m ₂)	± 0.27	± 0.28	± 0.23	± 0.16	
F ₁ - F ₂	2.62	- 6.44	8.30	- 4.48	
平均誤差	± 4.34	± 4.19	± 4.22	± 1.99	

第 5 表 消極的氣質者ノ血液型

	O	A	B	AB	計
% (F ₁)	72	121	59	28	280
平均誤差 (m ₁)	± 2.61	± 2.96	± 2.44	± 1.79	
北陸地方ノ頻度 (F ₂)	31.55	35.44	22.53	9.48	100.00
平均誤差 (m ₂)	± 0.27	± 0.28	± 0.23	± 0.16	
F ₁ - F ₂	- 5.83	6.77	- 1.46	0.52	
平均誤差	± 2.62	± 2.97	± 2.45	± 1.80	

ニハ消極的ノモノガ多イ様ナ傾向ヲ認メシメルガ、各々ノ平均誤差ヲ計算シテ見ルト此ノ偏差ハ皆誤差ノ範圍内ニ入り得ルモノデアアル。

又、消極的ノモノヲ各血液型ニ分類シテ、前同様北陸地方人ノ血液型ノ頻度ニ比較シテ見ルト其ノ偏差ハ何レモ實驗誤差ノ範圍内ニ入り得ル程小サイモノデアツテ血液型トノ關係ヲ認ムルニ充分デナイ。

(2) 古川氏ノ $\frac{A}{P}$ = 就イテ

次ニ古川氏ノ $\frac{A}{P}$ = 就キ考察スルニ各學年別ニ積極的ノモノト消極的ノモノトノ比ヲ計算シ、之ト $\frac{O\%+B\%}{A\%+AB\%} = \frac{A}{P}$ トヲ比較シテ見ルニ、第6表ニ示ス如ク、積極者ト消極者トノ比ト $\frac{A}{P}$ トノ間ニハ非常ナ差異ガアツテ全然一致シテキナイ。各組共ニ70%内外ハ消極的デアツテ、其ノ比ハ大多數0.5以下デアアルノニ $\frac{A}{P}$ ヨリ觀ルト略々積極者ト消極者ト相半バシテキナケレバナラス。殊ニ二年ハ $\frac{A}{P}$ ガ1.44デアアルカラ團體性指數カラ見ルト可成リ積極的ナ氣質デアアル筈デアアルガ、實際調査シタ積極ト消極トノ比ハ0.34デアツテ五組ノ中デ一番少ナク一番消極的ナ氣質ノ年級デアアル。

第 6 表

年 級	積 極	消 極	比	古川氏 $\frac{A}{P}$	$\frac{A\%+B\%+AB\%}{O\%}$
一 年	18 32.14	38 67.86	0.47	0.90	3.38
二 年	21 25.30	62 74.70	0.34	1.44	2.46
三 年	29 38.67	46 61.33	0.63	1.00	2.71
四 年	20 25.97	57 74.03	0.35	1.05	2.54
五 年	32 29.36	77 70.64	0.42	1.00	2.33
計	120 30.00	280 70.00	0.43	1.07	2.57

女學校生徒ハ其ノ年齢、境遇上動搖シ易ク、自分デ自分ノ事ガハツキリワカラズ、又一般ニ積極ヨリモ好ンデ消極ト答フル傾向ガアツテ此ノ自省ノ結果ハ必ズシモ正當ナモノデナイカモ知レナイ。然シナガラ此ノ各自ノ答ヘト $\frac{A}{P}$ ノ値トハ餘リニモ差異ガ大キイ。余等ハ先ニ金澤市新墾町小學校兒童ノ調査ニ際シ、各組ノ $\frac{A}{P}$ ハ實際ノ級ノ氣風ヲ代表シテ居ラナイコトヲ報告シタノデアアルガ、今回ノ調査ニ於テモ古川氏ノ $\frac{A}{P}$ ガ意義アルモノデアルトハ考ヘルコトガ出來ナカツタ。

(3) 氣質型ト血液型トノ關係

次ニ古川氏ノ氣質表ヲ用ヒテ、女生徒自ラニ自省ニヨツテ氣質型ヲ定メシメ、然ル後實際

ノ血液型トドノ程度迄一致スルカタ調査シテ見タ。

記入ナキモノハ除外シテ、396名ニ就キ調査シタガ、其ノ内O型ト判定シタモノガ21名、A型ト判定シタモノガ186名、B型ト判定シタモノガ140名、AB型ト判定シタモノガ49名デアツタ。

若シ、氣質型ト血液型トガ關係アルトセバ氣質型O型ト判定シタモノハ大部分ハ血液型O型ノモノデナケレバナラヌ。然ルニ實際ハO型ノモノハ6名28.57%ニ過ギナイ。又氣質型A型ノモノハ殆ンドA型デナケレバナラナイ。然ルニ實際A型ノモノハ72名デ38.71%デア。同様ニ氣質型B型ノモノハ殆ンド血液型B型デア。然レテ實際ハ37名デ26.43%ニ過ギナイ。

氣質型AB型ニ於テモ同様、實際血液型AB型ノモノハ2人4.08%ニ過ギズ、氣質型ト血液型トハ過半数以上不一致デア。

第 7 表

氣質型 血液型	O		A		B		AB		計	
O	6 28.57	5.56	51 27.42	47.22	39 27.86	36.11	12 24.49	11.11	108 27.27	100.00
A	7 33.33	4.43	72 38.71	45.57	55 39.29	34.81	24 48.98	15.19	158 39.90	100.00
B	6 28.57	6.31	41 22.04	43.16	37 26.43	38.95	11 22.45	11.58	95 23.99	100.00
AB	2 9.52	5.71	22 11.83	62.86	9 6.43	25.72	2 4.08	5.71	35 8.84	100.00
計	21 100.00	5.30	186 100.00	46.97	140 100.00	35.35	49 100.00	12.38	396 100.00	100.00

次ニ各型血液型ノ者ガ氣質型ト何程一致シタカタ見テ見ルト血液型O型ノモノハ108名中僅カニ6名(5.56%)一致シタニ過ギズ大部分ハA型ト判定シテキル。血液型A型ノモノ158名中A型ト判定シタモノハ72名(45.57%)、血液型B型ノモノハ95名中37名(38.95%)一致シ、血液型AB型ノモノハ僅カニ2名ダケ一致シ、大多數ハA型(62.86%)ト判定セラレテキテ氣質型

第 8 表

氣質型	O	A	B	AB	計
一致	6 28.57	72 38.71	37 26.43	2 4.08	117 29.55
不一致	15 71.43	114 61.29	103 73.57	47 95.92	279 70.45

第 9 表

年 級	一 致	不一致	計
一 年	18 31.58	39 68.42	57 100.00
二 年	26 31.33	57 68.67	83 100.00
三 年	19 26.03	54 73.97	73 100.00
四 年	23 31.08	51 68.92	74 100.00
五 年	31 28.44	78 71.56	109 100.00
計	117 29.55	279 70.45	396 100.00

トノ一致率が極メテ悪イ。而シテ又各血液型ヲ通ジテ各氣質型ノ割合ハ略々同様デアツテ型ニヨツテ特別ノ差異ヲ見出サナイ。即チA型ト判定サレタモノガ最モ多ク、次イデB型、AB型デ、O型ト判定サレタモノハ極メテ少ナイ。

今全體ニ就キ氣質型ト血液型トノ一致率ヲ算出シテ見ルト一致率ハ僅カニ 29.55% デアツテ 71.45% ハ一致シナイモノデアツタ。

次ニ各學年別ニ氣質型ト血液型トノ一致率ヲ調査シテ見タガ各學年共ニ殆ンド同様ノ成績デ何レモ一致率ハ極メテ不良デアツタ。其中一年ガ最モ一致率ガヨイガ、ソレデモ僅カニ 31.58% デアル。他ハ 30% 内外デアツテ何レモ偶然一致率ノ範圍ヲ出デナイ。

結 論

- 余等ハ金澤市某高等女學校生徒ノ血液型ヲ検査シ、次ノ如キ結果ヲ得タ。
検査人員406名、内O型 113名(27.83%)、A型 160名(39.41%)、B型 97名(23.89%)、AB型 36名(8.87%)、 $p=2.867$ 、 $q=1.858$ 、 $r=5.275$ 、人種係數1.47、此ノ他ニ教師15名、O型 5名、A型 6名、B型 3名、AB型 1名デアツタ。
- 各生徒ヲシテ各自ノ氣質ト内省セシメ、ソノ結果ト血液型トノ關係ヲ調査シテ次ノ如キ結果ヲ得タ。
 - (1) O型、B型ハ積極的デ、A型、AB型ハ消極的デアルトノ古川説ヲ吟味シテ見タガ、余等ノ調査範圍ニ於テハカ、ル事實ヲ認メルコトガ出來ナカツタ。
 - (2) 各年級別ニ古川氏ノ $\frac{A}{P}$ ト其ノ氣質ヲ比較シテ見タガ、兩者ハ少シモ一致セズ却ツテ反對ノモノスラアツタ。
 - (3) 396人ノ女學生ガ古川氏氣質表ニヨツテ自省ニヨリ判定シタ氣質型ト實際ノ血液型トノ間ニハ何等ノ關係ヲ認メルコトガ出來ナカツタ。

平均一致率ハ 29.55% デアツテ殘餘ノ 70.45% ハ一致シナイモノデアツタ。

終リニ御校閣下サレシ古畑教授ニ深謝スルト共ニ當該女學校諸先生ノ御厚情並ニ血液採取當日御手傳ヒ下サレシ諸兄ニ對シテ此處ニ厚ク感謝致シマス。

(文獻省略)